



# たきいNOW



関西医科大学附属滝井病院

## たきいNOWとは?

たきいNOWは、地域の皆様に滝井病院の「いま」をお伝えし、当院が提供する医療へのご理解を深めていただくことを主旨として発行しております。

### コンテンツ

- ☆ 血液呼吸器膠原病内科の診療について“魔弾の射手”
- ☆ 産婦人科now
- ☆ 産婦人科病棟のリニューアルについて
- ☆ 薬剤部の活動



## “魔弾の射手”

血液呼吸器膠原病内科 診療部長・准教授  
清水 俊 樹



ウェーバー：歌劇「魔弾の射手」より

ウェーバーのオペラに「魔弾の射手」という歌曲があります。これは百発必中の魔法の弾丸(魔弾)をモチーフにしたオペラですが、転じて医療現場では「画期的な治療薬」の比喩として用いられます。第二次大戦中に実用化された世界初の抗生物質ペニシリンもやはり魔弾のひとつと言えるでしょう。1929年にフレミングによって発見されたペニシリンは連合軍の戦略兵器として大量生産され、戦場で傷ついた多くの兵士を救うこととなります。ペニシリンに端を発した抗生物質は結核や肺炎をはじめとする様々な感染症の治療概念を塗り替えていきました。時はさかのぼって、第一次大戦で各国が競って開発した毒ガスのひとつであるナイトロジェンマスタードはひょんなことから世界初の抗癌剤となりました。癌の薬物療法が誕生したのですから、これもまた魔弾と言っても差支えないでしょう。そこから派生した化合物であるシクロフォスファミドは抗癌剤や自己免疫疾患や免疫抑制剤として、今も利用されています。その後も肺癌や白血病の分子標的治療薬、関節リウマチの生物学的製剤など画期的な治療薬が開発され、今日では我々は数多くの魔弾を手にするようになりました。しばしば誤解されますが「魔法の弾丸」は万能ではありません。前述のオペラ「魔弾の射手」でも「魔弾は7発中6発は射手の望むところに必ず命中するが、残りの1発は悪魔の望むところに命中する」とされています。よく切れる包丁は指を切ることもあるということでしょう。

さて、我々の診療部門ではこうした「魔法の弾丸」をしばしば使用します。感染症に対する抗生物質はいうに及ばず、肺癌、血液疾患に対する抗癌剤や分子標的治療薬、膠原病に対する免疫抑制剤や生物学的製剤がそれにあたります。いうなれば私たちは「魔弾の射手」なのです。もちろん健康な方は病院などに関わりを持たない方がよいのは無論ですが、もしも我々の持つ銀の弾丸が必要となるようであればご相談いただければ幸いです。



産婦人科 診療部長・教授  
安田 勝彦

近年、産婦人科とくに産科を扱う医療施設の減少が問題視されています。当院におきましても外来を受診される患者さんが増加しており、予約制となっていますので、初診および予約外の患者さんには待ち時間が多少、長くなってしまいますが、スタッフ一同誠意を持って治療にまい進させて頂いております。



婦人科におきましては、悪性疾患の患者さんが多く受診されていますが、最近では内視鏡下手術（腹腔鏡下手術、子宮鏡下手術）や子宮脱や膀胱瘤に対する腔式手術にも積極的に取り組んでおり、良性疾患の患者さんも数多く受診されています。良性疾患の場合は、薬物治療、手術療法、待機療法など患者さんに合わせた治療法を提示し、患者さんの希望も考慮して治療法を選択しております。また、手術療法の場合は患者さんのご希望をお聞きし、出来る限り希望日に手術予定を組んでおります。

祝い膳（一例）

産科ではNICU（新生児集中治療室）を併設しておりませんが、小児科と頻回に検討会を行い、NICUのある附属枚方病院周産期科との連携を強化して、母児共により安全な医療を心がけております。



肉料理

魚料理

また、両親教室や授乳指導など助産師を中心とした産前産後のサポート体制の強化に加え、選択できる祝い膳など食事にも工夫を加え、快適に過ごしていただけるように心がけております。

## ● 産婦人科病棟のリニューアルについて ●

2012年4月から産婦人科病棟は北館5階に移転し、病棟の全面改装を行いました。病棟には総室（4人部屋）が3室、副室（2人部屋）が5室、個室が1室の計9室・23床があり、その他に分娩室2室、陣痛室、新生児室、授乳室、内診室、処置室が各1室ずつあります。フロア全体はベージュを基調に





した明るい色調にまとめられています①。5階エレベーターを降りますと、すぐ右側の新生児室内をガラス越しに見られます②。元気に泣いている赤ちゃん、ぐっすり寝入っている赤ちゃん、口をもぐもぐしている赤ちゃん、ピククリしたように目を見開いている赤ちゃん、色々な表情の赤ちゃんをご覧いただけます。廊下を少し行きますと右側に開放型のナースセンターがありますので、ご質問、ご要望などがありましたらお気軽にスタッフにお声をかけて下さい③。左側には陣痛室と分娩室があり、突当りに内診室、処置室があります④。廊下を右に曲がりますと、すぐ左側にコンパクトな待合室があります。その先はすべて病室になっております。病室もベージュを基調とした落ち着いた色調でまとめられ、



圧迫感のない室内になっています⑤。入院中は何かと肉体的にも精神的にもつらい事があるかと思います。私達は患者さんの負担を少しでも軽減できるような医療を目指しておりますので、



スタッフに何なりと御相談下さい。今後とも、よい医療環境を提供できるよう努力いたします。



スタッフに何なりと御相談下さい。今後とも、よい医療環境を提供できるよう努力いたします。

当科は思春期の女性のプライマリーケアから不妊治療、妊娠・出産、婦人科腫瘍、更年期・閉経期医療など総合的な女性診療科を目指しています。



< 相談先 > 関西医科大学附属滝井病院・産婦人科外来 (06) 6993-9580 (直通)



# 「シリーズ」～病院スタッフの紹介～

## 【薬剤部の活動】



薬剤部長  
滝田 浩

現在、薬剤部には25名の薬剤師が勤務しています。薬剤部では病院の基本理念をふまえ、質の高い安全な医療を提供し、患者さんが安心して薬物治療が受けられるように最善をつくしていきたいと考えています。

薬についての正しい情報を、患者さんおよび医療従事者に提供することが、効果的かつ安全な薬物治療につながる基本と考え、日々研鑽を積み努力しています。

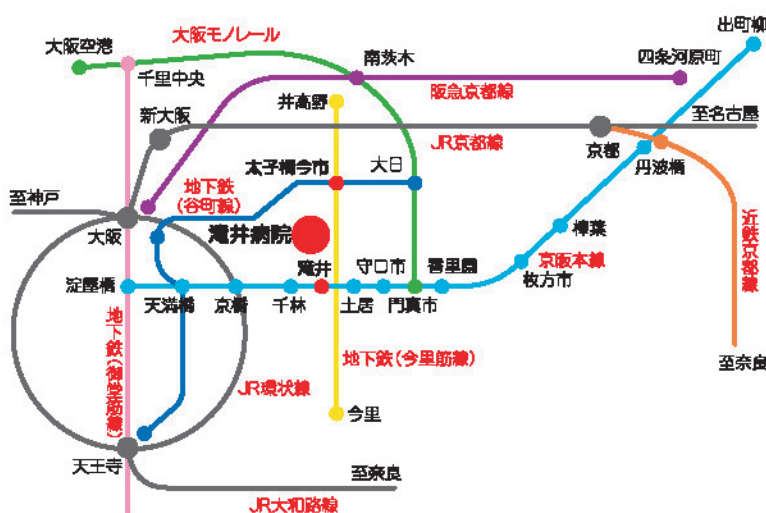
抗がん剤による化学療法では、安全で効果的な治療が提供できるように、抗がん剤の薬物治療レジメン管理および処方せん内容の確認を行った後、安全キャビネット内で抗がん剤を

無菌的に調製しています。特に外来化学療法室では近接する薬剤準備室で注射用抗がん剤の調製を実施しています。

病院内では、医師、看護師などと共同するチーム医療の中で、医療スタッフに医薬品の適正使用につながる情報を提供する一方で、一人ひとりの患者さんの大切な情報を共有することにより、入院患者さんをサポートし、関西医科大学附属滝井病院として最高の医療をチームで提供しています。さらに、病院横断的なチーム医療の幅広い活動のうち、感染防御チーム（ICT）、褥瘡管理チーム、栄養サポートチーム（NST）、緩和ケアチーム、糖尿病教室、肝臓病教室などに薬剤師が参画し、他の医療従事者と連携を図り、医薬品の適正で安全な使用をめざしています。



## アクセスマップ



関西医科大学附属滝井病院

〒570-8507 大阪府守口市文園町10番15号

TEL 06-6992-1001 (代)

HP <http://www.kmu.ac.jp/takii>

- ・京阪電車「滝井駅」徒歩3分
- ・地下鉄谷町線・今里筋線「太子橋今市駅」(2番出口)徒歩6分